

TMMスタンガンを接触させたときの症状

TMMスタンガンを接触させた時の効果表

電圧	接触場所	接触時間				
		0.5～1.0秒	1～2秒	2～3秒	3～4秒	4～6秒
8～10万V	首の後部	×				
	背中・腰	×	×			
	大腿・上腕	×	×	×		
12～15万V	首の後部					
	背中・腰					
	大腿・上腕					
20～23万V	首の後部					
	背中・腰					
	大腿・上腕					
30万V	首の後部					
	背中・腰					
	大腿・上腕					
40万V	首の後部					
	背中・腰					
	大腿・上腕					
50万V	首の後部					
	背中・腰					
	大腿・上腕					

	非常に効果がある (10.0～14.0)
	効果がある (7.0～9.0)
	やや効果がある (5.0～6.0)
	あまり効果はない (3.0～4.0)
×	ビックリさせる程度 (1.0～2.0)

* TMMトレーニングSTUNGUNテクニカルセンター調べ

普通、強盗、襲撃事件を犯そうとする人間や、殴り合いのケンカをしようとしている人間のその時の精神状態は、平常時と異なり「極度の興奮状態」にあります。したがって、平常時では感じる「痛み」や「苦痛を伴うショック」も「あまり感じない」のが普通のことだと、考えておかなければなりません。上記のスタンガンの効果表は前述の「極度の興奮状態になっている人間」に対して、どの程度の効果があるかを考慮し実際のスタンガン接触による実験例に基づき作成しました。

* 被験者/身長180cm、体重83kg、空手有段者、男子

非常に効果がある

どう頑張っても立っていることが困難な状態で、その場に崩れるように倒れてしまい、その状態のまま1～2分間は行動能力を失うか、もうろうとなります。その後は、私達が正座をしていて「シビレ」で思うように動かせなかった足を伸ばし時間の経過とともに「シビレ」がなくなってくる時と同じ感じでそのまま回復します。相手が凶器を持っている場合など、このレベルの効果が絶対に必要です。

体感ショック度10.0～14.0

このレベルのスタンガンの体感ショックは体全身、それこそ頭の天辺から足の爪先まですさまじい「シビレ」そして「痛み」を感じます。ちょうどプロボクシングのヘビー級チャンピオンから痛烈なパンチを食って「K.O」されたと同じような感じです。精神面では「恐怖感」「脱力感」に支配され完全な失意喪失状態になります。

回復後1～2時間はスタンガンの接触部分の周辺20～30cmの所が少し「シビレ」が残っているような感じで、ちょうど「麻酔注射」による麻酔の効き目の終わり頃のような感じです。このレベルの「体感ショック」も1～2時間経過すると正常に戻ります。

効果がある

思わず腰が砕けて尻もちをつか、両膝を地面につけてしまいます。3～5秒間は体を動かすことが出来ず、放心状態のようにその場でじっとしています。しかし、5～10秒経過後はまた立ち上がるとうとしますので、すぐさま(レベル)、完全に倒れるまで次のスタンガンによる反撃が必要です。

体感ショック度7.0～9.0

ボクシングでカウント8.0(イト)のダウンを取られた程度のダメージといえます。精神面では「恐怖」が心を支配してしまいます。

やや効果がある

腰が「グラッ」ときて思わず激しい痛みで唸り声を出します。体のバランスを崩して2～3秒ふらつきます。1～2秒間は一瞬自分でも何が起こったのか理解できないような感じで、動きが鈍くなります。そして、一瞬の間をおき「フーツ」と我に戻って、攻撃してくる可能性がありますので、すぐに(レベル)、完全に倒れるまで次の攻撃が必要です。

体感ショック度5.0～6.0

「痛み」の点では レベル、 レベルよりも、より大きな痛みを感じます。むしろ傷みというより「激痛」と言った方が正しいと思えるぐらいの痛さです。レベル、 レベルでは、痛みを通り超えてむしろ「シビレ」や「麻酔」の状態まで達してしまいますので、体が動かさないかわりに「痛み」の点ではさほどでもありません。

あまり効果はない

痛みが全身に走り一瞬ですが動きが鈍くなります。意識はハッキリとしていますので極度の興奮状態にある人間に対しては、あまり効果は望めま

せん。この状態の時は完全に倒れるまで引き続きスタンガンによる反撃が必要です。

体感ショック度3.0～4.0

「ガーン」と痛みとショックが体に残りますが、体のバランスを崩すまでは行きません。普通の人間から顔面をごく軽い力で一発殴られた程度のダメージしかありません。平常時の精神状態であれば先手必勝の一撃になり、その後の反撃を容易にするポイントになる事もありますが、興奮した人間にはあまり効果はないと考えたほうが安全です。

×まったく効果なし

不意に肩のところに筋肉注射を打たれた痛さか、又、低周波治療器の強いレベルの痛みの程度で、ビックリさせる程度のショックでまったく効果はありません。

体感ショック度1.0～2.0

一瞬、皮膚に「チクッ」痛みが走る程度で、護身器具としての威力はありません。このレベルのスタンガンを護身用として購入すると危険です。

体格差での男女別体感ショック度

成人男性であれば、身長2mを超える人間から170cm前後までは、「体感ショック度」の効果はそれ程変わりません。

成人女性の場合は、体格差に関係なく、成人男性の時の「体感ショック度」と比較して120～130%の効果があります。

成人男性で身長160cm以下、成人女性で145cm以下の場合は、それぞれ120～130%の効果があります。ですから、成人女性で身長145cm以下の場合は、前項の効果表の140～170%の効果となります。又、男女共に、体重差での効果に変わりはありません。

*この実験データはTMMスタンガンを使用した時のものですから、他社スタンガンの性能を証明するものではありません。